

夢 現

～ 自分と向き合う ～

愛西市立八開中学校

2年学年通信

令和3年6月16日

No. 8 (道徳)



「働く意義について考えよう」～道徳「段ボールベットへの思い」を通して考えました～

職場体験で、「私たち」は段ボールを作る会社に行き、組み立て方など、お客様の要望に沿ったものをきちんと納品することで、初めてお金が得られることを教わります。また、災害時に、避難者の二次的健康被害を防ぎたいと、段ボールベットを考案して無償で提供したり、設計図を他の会社にも公表したりしたことを聞きます。そして、段ボールベットを考案してよかったという会社の人の話を聞き、「私たち」は働くことについて考えたのでした。

授業では、段ボールベットを無償で提供した理由や設計図を他の会社にも公表した理由から、テーマについて考えました。

●● ●●くん

自分が生活していくために働くと思った。自分が生活していくには、働いてお金を稼がなければいけない。そして、職場の人と関係をつくっていくと、休日に仕事仲間と遊ぶことができるので、これらをふまえて自分が生活していくことだと思った。

●● ●●くん

段ボールベットのように、お金だけでなく、人と人が協力していくことが大切なんだと分かった。これからは、みんなと協力していきたいと思った。

●● ●●くん

働く意義とは、お金よりも、周りの人たちへの感謝や自分が誰かを幸せにできたという実感が大切だと思った。

●● ●●さん

私も、将来働くときに人を幸せな気持ちにしたり、人の役に立ったりするようなことを考えながら働きたいと思った。

●● ●●さん

お金のために働くことが、会社のためになる。会社のために働くことが、お金をもらえて自分の生活のためになる。誰かのために働くことは、いつかは自分のためになると思った。

●● ●●くん

働くというのは、自分や家族のため、社会貢献のためだと思った。自分のためだけに働いている人もいるかもしれないけど、その人も無意識のうちに、人の役に立っているんだと思った。

●● ●●さん

私は災害に直接関わったこともないし、避難所での生活もどれだけ辛いのか分からない。だから、まだ段ボールベットがどれだけ人の心に安心感をあたえてくれるのかも知らない。でも、こういう会社の人の考えが人のためになると思った。私は「自分が楽しいという人生を歩むため」と考えたけど、人のために働くのも大切だと感じた。

●● ●●さん

私は「働く」というと、お金のことはあまり頭にはない。どちらかというと「人を助ける」、「人を笑顔にする」という他人に向けて働きたいと思う。自分の好きなことをして楽しい人生にしたい。また、働くことに対して、みんなの意見を聞いて、「なるほど」と思うことが多かった。

